

みず けんてい 5月 (総合治水編)
水マス検定

つる み がわりゅういき はかせ
鶴見川流域水マス博士になろう!



つる み がわりゅういき
鶴見川流域では、市民・企業・行政が力を合わせて、水害すいかいがなく、安全で、生きものがたくさんくらす素敵な街や水辺を作ろうと、水マスつる み がわりゅういきみず（鶴見川流域水マスタープランの略称りゃくしやう）が進められています。そんな水マスをみなさんに知しってもらうために、スタッフが問題を作っています。今月の出題者しゅつだいしやはスタッフの小林範和こばやしのりかずです。みなさんチャレンジしてくださいね。

※現在、流域センターは臨時休館りんじきゅうかんちゅう中のため、WEB上での特別配信じやう とくべつはいしんをさせていただきます。

くわしいルールは、裏面うらめんをご覧ください。

ヒントはこちら→ https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000047228.pdf

Q5-1 大地だいちに降ふった雨あめが川あつに集まる範囲はんいのことを、その川の<流域>といいます。

鶴見川の流域はどんな動物の形をしているでしょうか？

(答え: _____)

A: カバ

B: ツル

C: バク

Q5-2 鶴見川はかつて、水害すいかいがとても多い川でした。鶴見川流域で戦後最も大きな浸水被害しんすいひがいを出した1958年しやうわ（昭和33年）の台風たいふうの名前は何でしょうか？

(答え: _____)

A: 狩野川台風

B: 伊勢湾台風

C: カスリーン台風

Q5-3 鶴見川で水害が多かった理由りゆうはなぜでしょうか？（いくつでもOK）

(答え: _____)

A: 上・中流に丘陵地きゅうりやうちが多く、雨が下流かりゆうにすぐ集まってくるから。

B: 下流が低地ていちで、川が曲がりくねっているから。

C: 流域の市街地化しがいちかが進み、保水力ほすいりよくが低下してきたから。

Q5-4 鶴見川流域の市街地率しがいちりつは1958年（昭和33年）には、約10%でしたが、2003年（平成15年）には、市街地率はどれぐらいになったでしょうか？

(答え: _____)

A: 約40%

B: 約60%

C: 約85%

Q5-5 流域の市街地化が進むと、どうして水害が起りやすくなるのでしょうか？

(答え: _____)

A: 人口ふが増えて、たくさんつかの水を使うようになるから。

B: ごみをポイ捨てする人が増えるから。

C: 建物たてものやアスファルトなどで覆われ、地面おおに雨がしみ込みじめんにくくなり、雨が一気に川に集まるから。

Q5-6 水害を防ぐため、鶴見川では流域が一体となって取り組む「〇〇治水対策」を全国に先駆けて取り組んできました。「〇〇治水対策」とはなんですか？

(答え：)

- A：まるごと治水対策
- B：総合治水対策
- C：統合治水対策

Q5-7 1980年(昭和55年)に鶴見川流域で総合治水対策がスタートして、今年で何年目になるでしょうか？

(答え：)

- A：30年目
- B：40年目
- C：50年目

Q5-8 総合治水対策には<河川対策><下水道対策><流域対策>の3つの柱があります。<河川対策>にあてはまるものは、次のうちどれでしょうか？(いくつでもOK)

(答え：)

- A：堤防を高く、頑丈にする
- B：川底にたまった土砂を掘り、水が流れやすくする
- C：大雨の時に、川の水を一時的にためておく「遊水地」を作る

Q5-9 総合治水対策の<下水道対策>にあてはまるものは、次のうちどれでしょうか？

(答え：)

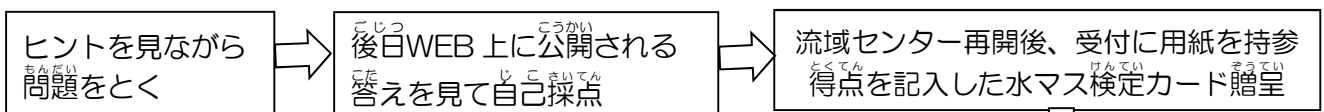
- A：安全できれいな水がいつでも使えるよう、みんなの家に届ける
- B：街に降った雨を、川に排水する「ポンプ場」を作る
- C：大雨で川の水位が上がり、ポンプ場から川に排水できない時に、街に降った雨を一時的にためておく「雨水貯留施設」を作る

Q5-10 総合治水対策の大きな特徴が、流域一体となって取り組む<流域対策>です。流域対策にあてはまるものは、次のうちどれでしょうか？(いくつでもOK)

(答え：)

- A：流域の緑(森・田んぼ・畑)を守る
- B：流域に降った雨を一時的にためておく「調整池」を作る
- C：流域に降った雨を地面にしみ込ませる「雨水浸透施設」を作る

～水マス検定のやりかた<臨時休館中>～



※2020年5月～2021年2月の各月10問で100問満点100点
100点：1級 90点：2級 80点：3級 70点：4級 60点：5級
50点：6級 40点：7級 30点：8級 20点：9級 10点：10級

2021年3月にセンターで、水マス検定認定証を発行